山梨県立図書館パスファインダー
「レファレンスの道具箱」

郷土編

山梨の歴史について調べる

パスファインダー Pathfinder ～あるテーマについて調べる際に、役立つ資料や調べ方を紹介します～

山梨の歴史を調べるとき、古代から現代まで大まかに知りたいのか、特に知りたい時代や地域があるのか、調べたいことがいつの時代のことかなどを明らかにしておくと、早く情報にたどりつけます。

また、複数の資料を確認することで、歴史の中で出来事がどのように捉えられているか多面的に知ることが重要です。

1．山梨の歴史を調べる

山梨の歴史を大まかに調べるときに役立つ資料です。

■ 通史を調べる

『山梨県の歴史』（飯田文弥／ほか著　山川出版社　2010 年）【K21/ｲｲ】

古代から現代までの概説書です。巻末に索引があります。

『図説山梨県の歴史』（磯貝正義／編　河出書房新社　1990 年）【K21/ｲｼ】

図版や写真が多く掲載されています。巻末に索引があります。

『山梨県史概説編　山梨県のあゆみ』（山梨県／編集　山梨日日新聞社　2008 年）【K20/ﾔﾏ】

山梨県史編さん事業の一環として作られたものです。巻末に年表・市町村沿革などがあります。

『山梨郷土史研究入門』（山梨郷土研究会／編　山梨日日新聞社　1992 年）【K21/ﾔﾏ】

郷土史に関する基本的事項を取り上げ、概要や研究成果などをまとめたものです。

『角川日本姓氏歴史人物大辞典 19　山梨県』（角川書店　1989 年）【K288/ﾔﾏ/19】

第１章「山梨県の歴史と人物」では、古代から現代までの山梨の歴史を概観できます。第７章「資料編」には年表と主要文献解題があり、山梨の歴史を調べる上で見ておくべき資料がわかります。

年代を追って調べられる年表も

『山梨郷土史年表』（山梨郷土研究会／編　山梨日日新聞社　1981 年）【K20/ﾔﾏ】

先史時代から 1980（昭和 55）年までの山梨に関わる事項が、時系列で並べられています。

■ 時代ごとに調べる

『山梨県史』通史編全６巻（山梨県／編集　山梨日日新聞社　2004～2007 年）【K20 ﾔﾏ】で調べられる他、時代ごとに次のような資料があります。

・古代

『山梨の遺跡　新版』（山梨県考古学協会／編　山梨日日新聞社　1998 年）【K22/ﾔﾏ】

県内の遺跡・遺物を元に、古代の山梨の状況を解説しています。用語集や遺跡一覧もあります。

・中世

『武田一族の中世』（西川広平／著　吉川弘文館　2023 年）【K24/ﾆｼ】

武田氏の成立から滅亡までを解説した本です。整理された項目と明朗な文章でわかりやすくなっています。

『甲斐武田氏』（上野晴朗／著　新人物往来社　1972 年）【K24/ｳｴ】

武田氏の成立と武田三代のあゆみを、史料をたどりながら解説しています。巻末に年表があります。

・近世

『郷土史指導資料（近世）』（山梨県教育委員会／編・発行　1974 年）【K25/ﾔﾏ】

武田氏滅亡から天保騒動まで、簡潔な解説と史料で概観することができます。

『人づくり風土記 19　ふるさとの人と知恵　山梨』（農山漁村文化協会　1997 年）【K25/ﾋﾄ/19】

江戸期の山梨を図版と共に解説した本です。巻末に索引があります。

・近現代

『山梨県の百年』（有泉貞夫／編著　山川出版社　2003 年）【K26/アリ】

明治～昭和前期の県下の状況を解説しています。巻末に年表・索引があります。

『山梨県政百年史』上下巻（山梨県／編・発行　1975, 1978 年）【K26/ヤマ/1, 2】

上巻は明治維新から太平洋戦争、下巻は地方自治制度改革から 1971（昭和 46）年までの県のあゆみをまとめたものです。図表と共に順を追って近現代の山梨の様子をつかむことができます。

『山梨の 20 世紀』（山梨日日新聞社／編集・発行　2000 年）【K27/ヤマ】

1901（明治 34）年～2000（平成 12）年の主な記事を、各年見開きで紹介しています。

■ 地域ごとに調べる

地名辞典では、各地の歴史的変遷を簡潔にまとめています。また、各市町村が編さんした市町村史（誌）では、項目別に詳しく解説しています。小学校の社会科副読本も概要を知るには役立ちます。

例：『日本歴史地名大系 19　山梨県の地名』（平凡社　1995 年）【K29/ニホ/19】

『昭和町誌』（昭和町／編・発行　1990 年）【K295/ショ】

『わたしたちのまち中央市』令和３年度版

（中央市社会科副読本編集委員会／編　中央市教育委員会　2021 年）【K295/チュ/2021】

２．史料を探す

山梨の歴史に関する古文書・古記録を確認したい時は、翻刻された資料が役に立ちます。また、古文書類の所在等をまとめた目録もあります。

『山梨県史』資料編　全 19 巻（山梨県／編集　山梨日日新聞社　1996-2005 年）【K20/ヤマ】

各時代の重要史料を掲載しています。各巻末に解説があります。

『大日本地誌大系 44-48　甲斐国志』全５巻（佐藤八郎／校訂　雄山閣　1998 年）【K21/マツ/1～5】

明治維新前の情勢をまとめた甲斐国の地誌で、５巻に索引があります。

『新編甲州古文書』全３巻（荻野三七彦，斎藤俊六／共編　角川書店　1966-1969 年）【K21/オギ/1～3】

県内に伝わる江戸時代より前の古文書類の翻刻を所蔵者別に収録しており、３巻には総目録があります。

『富士吉田市史資料所在目録』全 22 集

（富士吉田市史編さん室／編集　富士吉田市教育委員会　1982-1991 年）【K02/フジ/1～22】

市史編さんの根幹となった古文書類を所蔵家ごとに分類したもので、文書の内容が簡単に書かれています。

その他翻刻には『甲斐叢書　復刻版』全 12 巻（甲斐叢書刊行会／編　第一書房　1974 年）【K08/カイ/1～12】、『戦国遺文　武田氏編』全６巻（東京堂出版　2002-2006 年）【K24/セン/1～6】、目録には『市川大門町所蔵文書目録』（市川大門町教育委員会／編　市川大門町　1995 年）【K02/イチ/1995】などがあります。

３．インターネット、データベースで情報を探す

現代の山梨の情報は、本になっていない場合が多いです。信頼できる機関や研究者の作った web サイトなどから情報を探してみましょう。

■ **「山梨県について」〈山梨県〉**

県政情報として、明治から令和までの山梨県の歴史を 10 年ごとにまとめたページです。

（https://www.pref.yamanashi.jp/kensei/yamanashi/）

■ **「山梨日日新聞縮刷版検索」〈山梨日日新聞社〉**　※有料データベース

1989（平成元）年１月１日以降の新聞記事から、キーワードや日付で絞り込んで探せます。

（https://news.sannichi.co.jp/）

※ 当館の資料を探すときには

一般資料と同じく「分類」ごとに資料が並んでいますが、請求記号ラベルの番号が山梨関係の本は「K」、行政機関等が出した本は「Y」で始まり、ラベルの色も一般資料（黒）とは違って**黄緑色**です。当館ホームページの蔵書検索や館内の資料検索端末で探す場合は、詳細検索画面で「地域資料」にチェックを入れて探すと、山梨関連のものに絞り込めます。より深く調べるときは「甲斐」（山梨郷土研究会）などの地域雑誌も見てみましょう。

編集・発行　2024.3 山梨県立図書館